



◎ホタル

画像は「動物JP/虫/蛍」より

上西だより

～上西校区集落支援員だより～

西之表市地域支援課
上西集落支援員
馬場 信一 編集
連絡先090-9579-3953
上西校区長責任発行

早めに食事を終え、庭に出てみました。
夕闇迫る田んぼの隅に、かすかに灯るもの、ひとつ。
あとを追うと、闇の深みに迷い込んだかのように、足元はさらに深く…。
見上げると、青みの残る空と漆黒の樹影。それらを縫うように
いくつかのホタルが舞っていたのです。
五月は中ごろのことでした。

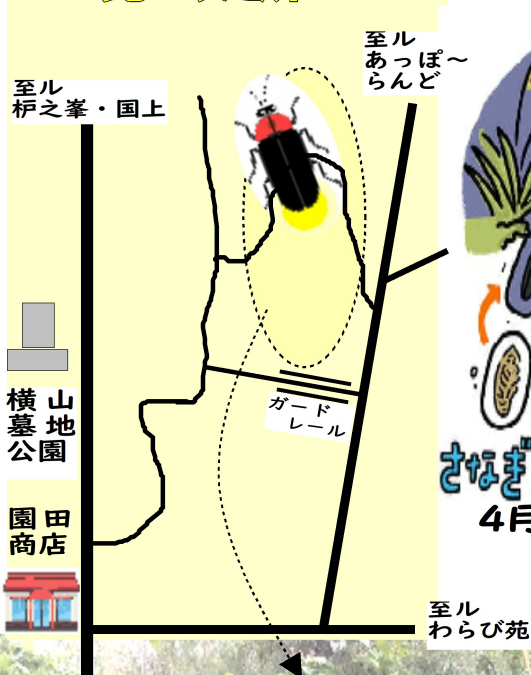
ホタルを
題材にした歌

きみの浴衣の帯に
ホタルが一匹とまる
つゆ草模様を
信じたんだね…
「線香花火」さだまさし

お盆が終わり、都
会に戻る彼への思慕
が彼女のしぐさから
伝わってきます。

運命に抗えない別
離への予感が切なく
描かれています。
「風の篝火」はEさんの
思い出と重なります。

見つけた所

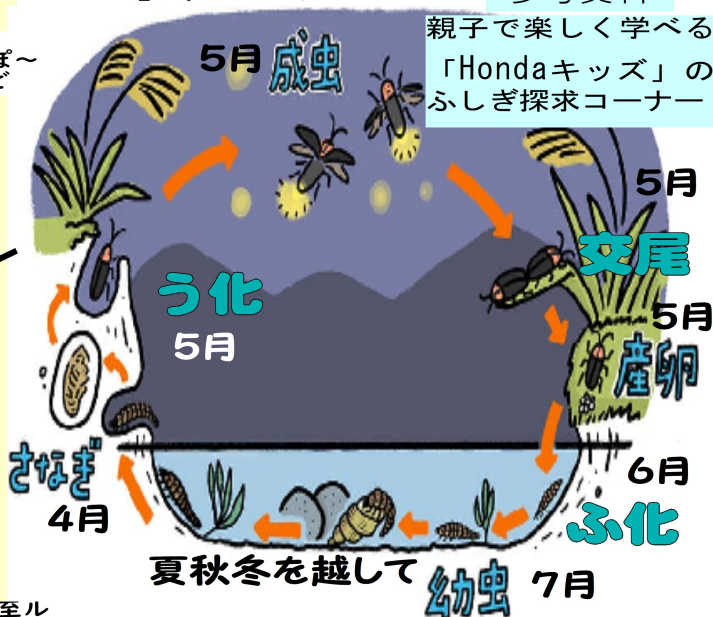


見つけた所は
こんな風景

ホタルの一生

＜参考資料＞

親子で楽しく学べる
「Hondaキッズ」の
ふしぎ探求コーナー



ホタルの思い出

Mさん：20年前、家の下に川と田んぼがあり、そこにホタルがいた。今はもう藪になって足を踏み入れることができない。今も飛んでいるのだろうか。

Sさん：外は数えきれないほどのホタル。迷ったのか蚊帳に止まって光る。寝床でいっぴき、にひき、さんびき…と数えるうちに眠ってしまった子どものころ。

Eさん：30年ほど前、古田に子どもとホタルを見に行った。それはそれはもう、吹雪のように舞う。それも一瞬のこと。あれは、まぼろしだったのか…。

Yさん：弟が死んだ日の夜、ホタルが一つ外にいた。戸を開けて中へ招き入れ、「ほら。(弟の名前)が来たよ。」みんな、息をこらして見つめていた。

五月の中ごろに、乱舞とまではいえませんが十数匹見られます。高く飛び回るのはオス。なかには突然、光ったまま力を無くしたかのように落ちるものもいます。その様が火垂る。ほたるの語源だと言われます。葉の陰で静かに灯るのはメス。いずれも限りある時間を生きて、命の光を灯します。日を追うごとに、数を減らしていきます。そして今年も案ずるのです。最後の一つは、どんな思いで灯しているのだろうか、と。梅雨に入ると、いつのまにか姿を消しています。